

第1118自動車輸送隊公開株式会社・2002年8月6日付試験報告書

燃料噴射ポンプが摩耗したIkarus-280： 燃料消費量の超過分が 削減に転換

第1118自動車輸送隊公開株式会社・承認：技術部門責任者Yu.A.レオノフ／署名：診断技術者（職務代行）、
生産技術準備部長、アルクティク・アフト有限責任会社社長

ロシア・2002年8月6日付試験報告書・運行日報による観察期間2002年6月1日～8月5日

製品

XADOゲル状リバイタリザ
ント（摩擦面再生剤）
燃料噴射装置の2段階処理

処理対象

Ikarus-280バス
登録番号M 987 VV 51・燃料噴射
装置、燃料噴射ポンプ

文書の種類

事業所の試験報告書
（署名・押印付き）

機械類

作業開始時の状態

測定内容

Ikarus-280バス、
登録番号M 987 VV 51

燃料噴射装置の点検で確認された燃料噴射
ポンプの著しい摩耗。2002年6月1日時点の
月間の燃料消費量の超過分**106 l**

事業所の運行日報による燃料消費
量

本車両は定期路線で運行されていた。燃料噴射ポンプの摩耗度が大きかったため、ゲル状リバイタリザントは2段階で投入した。

主要な結果

運行日報による燃料消費量、月間の超過分106 l → 削減

事業所の運行日報によるバスの燃料消費量

確認日	作業段階	燃料消費量
2002年6月1日	処理前	月間の燃料消費量の超過分 106 l
2002年7月31日	燃料噴射装置の処理後	燃料消費量の削減 79 l
2002年8月5日	再処理後	燃料消費量の削減 15 l

燃料消費量は事業所自身がバスの運行日報により記録した。処理はアルクティク・アフト有限責任会社が実施した。

事業所の試験報告書による記録

処理の実施は、燃料噴射装置の点検と運行日報による燃料消費量の分析を経て決定された。燃料噴射ポンプの摩耗は、XADOゲル状リバイタリザントを2段階で投入するほど著しかった。以下は試験報告書の記載である。「2002年6月1日時点で、月間の燃料消費量の超過分は**106 l**であった。燃料噴射装置の処理後、2002年7月31日時点の運行日報の分析により、**79 l**の燃料消費量の削減が示された。燃料噴射装置の再処理後、2002年8月5日時点の運行日報の分析により、**15 l**の削減が示された」。摩耗した燃料噴射ポンプは車両に装着されたまま路線での運行を続け、事業所の運行日報上、燃料消費量の超過分は削減に転じた。

XADO

© XADO。無断転載禁止。

本結果は、定期旅客運行に従事するIkarus-280バスの燃料噴射装置に関するものである。他の機械類や異なる運転条件では、測定値が異なる場合がある。第1118自動車輸送隊公開株式会社の2002年8月6日付試験報告書の原本（署名・押印付き）は全文を公開しており、ダウンロード可能である。